

■今後の行動計画(案)について

平成15年度に行う「保全ゾーン」「水辺の回廊ゾーン」における整備は、基本的に現状を活かし、必要最小限の整備を実施し、整備後は自然の環境の変化を見守っていくこととしています。

浜尾遊水地内の整備及び整備後において、水量・水質或いは自然環境に関するモニタリングの実施や、浜尾遊水地の利活用活動及び維持管理活動、さらに、水量・水質の改善や住民活動のあり方といった課題について、今後市民・行政(須賀川市)・河川管理者(国土交通省)が各々担うべき役割を明確にし、共に連携しながら役割を実施するための行動計画案を下記のように決めました。

■浜尾遊水地における行動連携イメージ



基本的な考え方


- 浜尾遊水地では、今後、市民・行政(須賀川市)・河川管理者(国土交通省)が各々担うべき役割を明確にし、共に連携しながら役割を実施していく。
- 活動状況等の情報は極力共有化していく。また、実際に利活用・維持管理活動をしていく市民(団体)が、他の市民に情報を公開し、市民の浜尾遊水地や自然環境に対する意識を向上していく。

■行動計画一覧表

項目	誰が	何を
モニタリング	河川管理者	・植物、動物調査(必要に応じて外来種調査) ・水質・水量調査 ・遊水地の維持管理にともなう調査(出水後等)
	市民、市民グループ	・定期的な生き物調査 ・水質調査(流入水との関係)
	学校	・水量調査
利用活動	市民グループ、市民	・生き物観察会、自然体験活動 ・余剰植物(ヨシ等)を利用したクラフト(炭づくり等含む)制作活動 ・浜尾遊水地および活動のPR ・利活用の指導 ・利活用指導者育成
	学校	・自然環境教育カリキュラムへの取り込み
	市民・行政・河川管理者	・浜尾遊水地イベント(年1回)開催
維持管理活動	河川管理者	・遊水地に係る維持管理(特に出水後の対応) ・設備点検、補修 ・安全点検
	市民、市民グループ、学校活動	・日常的な維持管理活動(生き物の生息環境の保全…清掃活動、外来種、泥さらい) ・余剰植生に対する対応検討 ・利用者からみた安全点検
	(市民・河川管理者・行政)	・水質の改善(生き物の生息環境として。子どもたち等が安全に利用できる環境として。) ・水量の確保(生き物の生息環境、利用環境の確保) ・住民活動のありかた、市民意識の向上

今後のスケジュール

福島河川国道事務所では、広く一般の方々を対象に、浜尾遊水地利用ワークショップの整備テーマ及び基本方針に対する意見の募集を行いました。その結果、「水路は蛇行させる」「子供が安全に遊べる自然の小川」「自然に任せた小川」「手作り農場」「バターゴルフ場」等々の意見が寄せられました。これらの意見も踏まえ「ワークショップの整備計画」を尊重し、「保全ゾーン」「水辺の回廊ゾーン」について平成15年度にその整備を実施する予定です。

問い合わせ先
 **国土交通省**
福島河川国道事務所

〒960-8584 福島市黒岩字榎平36
 TEL024-546-4331 FAX024-539-9184
 福島河川国道事務所ホームページ
<http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>

浜尾遊水地利用ワークショップ

— これまでのまとめ —

～「保全ゾーン」「水辺の回廊ゾーン」利活用の方向性～



浜尾遊水地における「保全ゾーン」「水辺の回廊ゾーン」に関しその整備方針や具体的整備メニュー等について、このたび浜尾遊水地利用ワークショップにおいてまとめられましたのでお知らせします。

須賀川市に整備される「浜尾遊水地」は、洪水時にはその洪水を貯め込むことで、浜尾地区及びその下流地区の浸水被害を軽減するものです。

一方、広大な土地であることから、平常時には地域で有効活用出来るように、地域住民や有識者並びに関係行政機関をメンバーとする利用検討委員会により検討を重ね、平成13年6月に浜尾遊水地のゾーニング計画を策定したところでした。

このたび国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所では、このゾーニング計画に基づき「保全ゾーン」「水辺の回廊ゾーン」を、地域に喜ばれる施設となるよう、地域の皆さんと考える「浜尾遊水地利用ワークショップ」を実施しました。ワークショップでは、遊水地内の自然をどのようにするかについて、一般公募により応募のあった21名の皆様に参加頂き、「保全ゾーン」「水辺の回廊ゾーン」の将来計画策定に向け検討を進めました。

このワークショップは平成15年3月3日から平成15年8月6日まで6回開催し、当該ゾーンにおける水量・水質の問題点や、浜尾遊水地や自然環境に対する意識向上等について指摘するなど活発な討議の結果、「ワークショップとしての整備計画」及び「行動計画案」がまとめられました。

■ワークショップ参加者

- ワークショップメンバー：地域住民 21名
- アドバイザー：学校関係者及び有識者
- オブザーバー：須賀川市
- 事務局：国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所



浜尾遊水地利用ワークショップ検討対象ゾーン

浜尾遊水地利用ワークショップとしての整備計画

整備テーマ 「自然との共生を！」
「自然への回帰を目指す」

整備に対する基本的な考え方

- ・現状を活かし、必要最小限の整備を行う。
- ・整備後は、自然の環境の変化を見守っていく。

基本方針

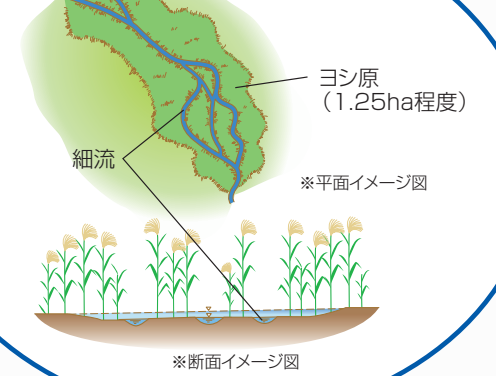
●保全ゾーン

- ・現状の湿地の保全を基本とする。
- ・環境の変化も踏まえながら、区域の拡大等については、時間をかけて検討していく。

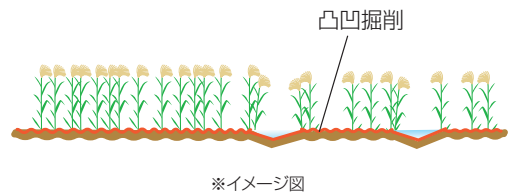
●水辺の回廊ゾーン

- ・安心して自然を学べる場所にする。
- ・水路は蛇行させるなど、変化を持たせる。

ヨシ原水質浄化



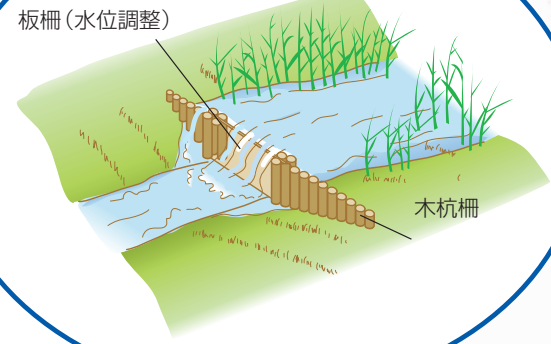
凸凹掘削による湿生植物が生育しやすい形にする。



※イメージ図

落差工

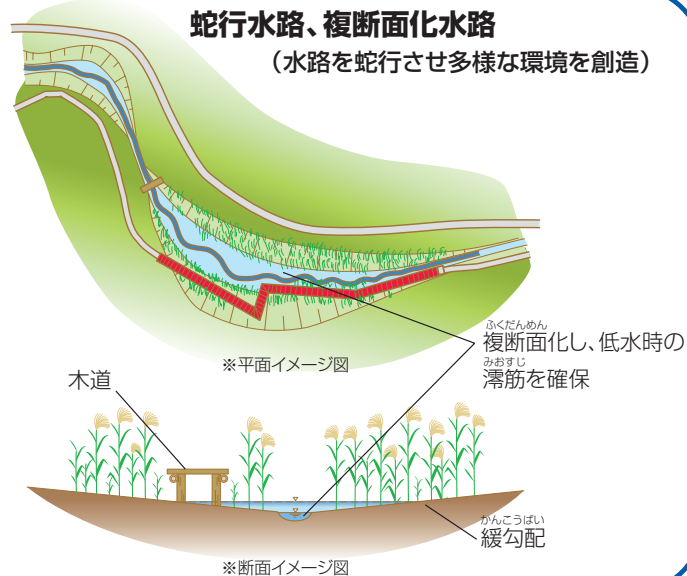
(落差工を設置し、水面を確保)



※イメージ図

蛇行水路、複断面化水路

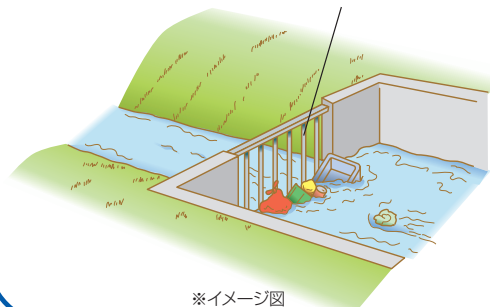
(水路を蛇行させ多様な環境を創造)



※断面イメージ図

流入部でのゴミ止め

透過性の柵
大きなゴミ等を止める



※イメージ図

